



## ネギの病害（べと病、さび病、黒斑病、葉枯病など）の発生に注意しましょう！

ネギの「べと病」や「黒斑病」、「葉枯病」は被害残渣とともに、「さび病」は被害植物上で越冬し、降雨が続いて発病好適条件になると発生してきます。このため、前年（前作）に多発生した圃場では、発生が多くなる傾向がありますので注意が必要です。

べと病やさび病では梅雨前から梅雨期にかけて比較的低温の場合に、黒斑病では比較的高温の場合に多発生しやすい傾向があります。

気象庁の1ヵ月予報（4月27日発表）によると、「天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平均気温は、高い確率60%、降水量は平年並または多い確率ともに40%、日照時間は平年並または少ない確率がそれぞれ30%と40%」と予想されています。

茨城県病害虫防除所の病害虫発生予報5月号では、夏ネギのべと病の発生が例年より多い状況となっており、今後の発生に注意が必要です。

このため、降雨の続くような好適条件が予想される場合には、降雨前や雨の合間に、薬剤の予防散布や発病初期の防除に努めてください。



べと病

黒斑病

さび病

（出典 茨城県病害虫防除所）

### <防除のポイント>

- 1) 圃場の排水を良好にし、多肥や肥切れを避けて、適切な肥培管理に努めます。
- 2) 収穫が近くなってきたネギについては、特に収穫前日数に注意して薬剤を選択してください。
- 3) 薬剤防除は、発病前または発生初期に重点を置いて、薬液が付着しやすいよう展着剤を加用して行います。
- 4) 薬剤耐性菌の出現を抑制するため、分類（コード）の異なる薬剤でローテーション散布を行きましょう。

表1 ネギべと病の主な防除薬剤

（令和5年5月2日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫3日前まで/4回以内	11
アリエッティ水和剤	800倍	収穫3日前まで/3回以内	P7
ランマンフロアブル	2,000倍	収穫3日前まで/4回以内	21
オロンディスウルトラSC	2,000倍	収穫7日前まで/2回以内	40と49
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫14日前まで/3回以内	M5
フォリオゴールド ※	800~1,000倍	収穫14日前まで/3回以内	4とM5
プロポーズ顆粒水和剤 ※	1,000倍	収穫14日前まで/3回以内	40とM5
ペンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤	600倍	収穫14日前まで/3回以内	M3

注1) 表1及び2の薬剤名の※印は、有効成分にTPNを含みます。有効成分の総使用回数に注意してください。

注2) 表1及び2の分類欄には、FRAGコードを記載しました（コードが2つは混合剤）。

表2 ネギさび病、黒斑病、葉枯病の主な防除薬剤

（令和5年5月2日現在）

さび病	黒斑病	葉枯病	薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
○			パレード20フロアブル	2,000倍	収穫前日まで/3回以内	7
	○	○		2,000~4,000倍		
○	○	○	アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫3日前まで/4回以内	11
	○		オキシラン水和剤	600倍	収穫14日前まで/5回以内	M1とM4
○	○		オンリーワンフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで/3回以内	3
○	○	○	ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫14日前まで/3回以内	M5
○	○		ペンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤	600倍	収穫14日前まで/3回以内	M3
	○	○	ポリペリン水和剤	1,500倍	収穫14日前まで/3回以内	19とM7
	○		ロブラール水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで/3回以内	2

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。